



未来の先生展
2017

低学力の生徒の特徴と効果の出た指導法

～子どもの貧困解決の無料学習会の現場での実践を通して～

パネルディスカッション形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館 2F 206 教室

講演者 渡辺由美子(NPO法人キッズドア 理事長)

日本では例がない「低学力」の子どものための指導方法

NPO法人キッズドアは、2010年より、いわゆる「子どもの貧困」と言われり低所得のご家庭のお子さんのための学習支援を行なっています。特に、高校受験を控えた中学生の指導が多く、昨年は1000名以上の中学生の指導を行いました。教育格差が顕著な日本では、低所得家庭の生徒さんには、非常に学力が低い生徒さんが多いのが特徴です。成績がオール1であったり、中学生でも九九がすぐ出てこない、アルファベットが全部書けない、分数の計算が全くできないなど、基礎学力に大きな課題を抱えています。また、学習意欲も低く、家庭での学習習慣もない生徒さんも少なくありません。従来の学習塾などでは、救えなかったそうといえるでしょう。

なぜ、そのような状況になっているのか？どこが学習のつまづきになっているのか？どうすれば学習意欲が上がり、学力が向上するのか？具体的にどのように指導するのか？、キッズドアの実践を交えてお話しします。

キッズドアのオリジナル英語テキストを解説

アルファベットもしっかりと覚えていないというようなレベルの中学生のために、キッズドアの無料学習会での指導経験から開発したオリジナル英語テキストを解説します。市販の教材のレベルが合わない生徒のための教材です。

キッズドアの英語が苦手な生徒を対象にした3日間の講習では、「英語の苦手意識が減った」86%、「勉強をがんばりたいと思った」100% と、生徒からも高い評価を得ています。

また、小学校英語もスタートする中、小学生の予習してお使いいただいたご家庭からも、非常に良いフィードバックをいただいております。

講演者プロフィール



渡辺由美子

特定営利活動法人キッズドア 理事長

千葉大学工学部出身。大手百貨店、出版社を経て、フリーランスのマーケティングプランナーとして活躍。2007年任意団体キッズドアを立ち上げる。2009年内閣府の認証を受け、特定非営利活動法人キッズドアを設立。「親の収入格差のせいで教育格差が生じてはならない！」との思いから、経済的に困難な子どもたちが無理なく進学できるよう、日本の全ての子どもが夢と希望を持てる社会を目指し、子どもの貧困問題解決に向けて活動を広げている。
・「内閣府子供の貧困対策に関する有識者会議」構成員・「子供の未来応援国民運動」発起人
・厚生労働省「生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」構成員
・全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表幹事

講演者から参加者へのメッセージ

PISAの学力テストでも、学力が低めの子どもの増加傾向にあります。5段階評価で、1や2の生徒に対して、どのように指導をすればいいのか？お困りの方も多いと思います。

少子高齢化や地方からの人口流出が進む中では、「落ちこぼれ」を放置して置くことはできません。学習支援が拡大する中、今後は、低学力の生徒への指導法の重要性が、ますます増加します。

ぜひ、皆様と一緒に、低学力の問題を考えていければと思います。

英語が苦手…という子どもたちが変わります！

まずはここから始めよう！
英語が本当に苦手なあなたのための

英語スタートブック & チェックテスト

英語が苦手な生徒さん特有の「読めない」「覚えられない」を
解消するオリジナル教材で

3日間で平均27点アップ！

※弊団体の学習会に通う中学1・2年生を対象とした3日間15時間の講習を受けた12名の生徒のテスト結果より。(点数は100点満点換算)

学習支援を7年間続けてきたNPO法人キッズドアの完全オリジナルテキストです。